

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
子どもの発達と保育	3	3	子どもの発達と保育 -育つ・育てる・育ち合う(教育図書)	2021 生活学 Navi 資料+成分表 (実教出版)
到達目標 保育を通して自らの生活を顧み、家庭総合で学んだ健康で安全な生活を営む能力をさらに伸ばすとともに、社会の諸問題にも積極的に関わろうとする態度を身につける。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	子どもをとりまく諸問題に関心を持ち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。
b 思考・判断・表現	子どもをとりまく諸問題の解決に向けて思考を深め適切に判断できる。
c 技能	養護や遊びの援助などの基礎的・基本的な技術を身に付けている。
d 知識・理解	乳幼児の発達と生活について基礎的な知識を身に付け、保育の重要性や福祉、子育て支援について理解を深める。

評価の方法
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画					後期								
前期					後期								
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	1	オリエンテーション	○				10	10	第2章 子どもの発達過程 3. 乳幼児の発達の特徴 4. 人間関係の発達 5. 心の発達				○
	5	第1章 子どもの発達の特性 1. 生涯発達における 乳幼児期の重要性 2. 発達と環境 3. 発達観・児童観とは				○							○
	10	第2章 子どもの発達過程 1. 身体発育と運動機能 の発達 2. 乳幼児のからだの発育				○							○
5	35	第3章 子どもの生活 1. 子どもの健康と生活 2. 子どもの食事 3. 子どもの衣服 4. 子どもの遊びと生活				○							○
6						○							○
7						○							○
8						○							○
9	10	○ 保育実習	○			○							○
								計 105					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・通常、授業には教科書・資料集・A4ファイルを持参して下さい。(記名を忘れずに) ・授業は、A4のプリントを配布しそれに記入する方法で行います。 ・実験・実習には、三角巾・エプロン着用が必要な場合もありますので、準備してください。 ・課題の再提出は認めます。評価も内容に応じて、再評価します。
学習方法
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容を、自らの生活で実践することにより理解が深まります。また、保育に限らず広く社会に関心を持ち、新聞・ニュースなどにも目を通しましょう。